

第 16 回世界湖沼会議 (WLC16)



湖沼生態系の健全性と回復力：

生物多様性と種の絶滅の危機

2016年11月7日(月)～11日(金)

於 インドネシア共和国 バリ島

第 2 回案内書

主催：インドネシア共和国環境林業省ほか



Ministry of Environment and Forestry



Indonesian Institute of Sciences



Ministry of Public Works and Housing



Udayana University



International Lake Environment
Committee Foundation

公式サイト: www.wlc16bali.org

* 日本語の情報は ILEC サイトにて随時更新：www.ilec.or.jp/jp/wlc

お問い合わせ：secretary@wlc16bali.com (現地事務局)

wlc16@ilec.or.jp (ILEC 事務局：日本語対応可)

目次

I.	はじめに	3
II.	会議テーマと参加者	3
III.	主催者	4
IV.	会期と会場	4
V.	予定プログラム	5
VI.	分科会トピック	6
VII.	プレゼンテーションの受付について	7
VIII.	口頭/ポスター発表の準備要項.....	8
IX.	フィールドトリップ	9
X.	会議参加登録	11
XI.	宿泊先	12
XII.	会場へのアクセス	12
XIII.	協賛・後援と展示について	13
XIV.	プログラム委員会	14

I. はじめに

湖沼は国民の生活とは切り離せない、インドネシア社会において欠かせないもののひとつです。生活に必要なものを供給してくれるだけでなく、この国の文化を育む上でも大事な役を担っています。こうした重要性は十分に認識されているにもかかわらず、国中のほとんどの湖沼環境が深刻な状況に瀕しています。

悪化した湖沼生態系を甦らせる必要があるという認識は、国中のあらゆるレベルで高まってきています。なかでも特筆すべきは、湖沼の持続可能な管理について同国政府 9 省の大臣が合意した公約です。これにより、すべての利害関係者が湖沼の持続可能な利用と保全に向けた湖沼生態系の調和を取り戻すため、共に行動を起こすきっかけが生まれました。この目的を達成するために、2011 年には湖沼復興の全体構想が形成されました。現在、国内の 15 湖沼が国家優先湖沼として指定されています。

湖沼生態系の持続可能性の大切さは、多くの人々と機関がきわめて重要な地球規模の課題であるということを広く認識しています。このことにおいて、とりわけ世界湖沼会議（WLC）は、これまで世界中の市民、産業関係者、政府官僚そして科学者を含めた広範囲の利害関係者が一堂に会し、共通する懸念や課題について考えるといったユニークなフォーラムとして開催を重ねてきました。1984 年の初回開催以来、アルゼンチン、中国、デンマーク、ハンガリー、インド、イタリア、日本、ケニア、そしてアメリカと、世界各国において 15 回開かれています。滋賀県に拠点を置く公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）が、その設立年である 1986 年より各回の共催者として実施を促進してきました。そして今年、東南アジアでは初めての WLC となる第 16 回目の会議を主催することを、インドネシアは大変光栄に思います。2016 年 11 月 7～11 日に、バリ島のディスカバリー・カルティカ・プラザホテルにて皆さまにお会いできることを主催者一同楽しみにしております。

II. 会議テーマと参加者

WLC16 の会議テーマは「湖沼生態系の健全性と回復力：生物多様性と種の絶滅の危機」です。世界各地の研究者、学術関係者、政府官僚、非政府組織（NGO）職員、地域の代表者ほか利害関係者から、延べ 700～1,000 人の出席を想定しています。予め投稿いただいたアブストラクトは、会議の科学委員会の審査を経て会期中のさまざまな分科会で発表していただくことになります。

III. 主催者

WLC はインドネシア共和国の環境林業省、インドネシア科学院（LIPI）、公共事業住宅省が主催し、プログラムの構築と実施を行います。また、国外の主要なオーガナイザーである公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）からは、その事務局を通しインドネシア主催機関と密に連携のうえ、プログラムの準備と実施において協力を、また ILEC の科学委員会からは最新のグローバルな協議事項の策定にあたってサポートをいただいています。

IV. 会期と会場

会期： 2016 年の 11 月 7 日（月）～11 日（金）

会場： ディスカバリー・カルティカ・プラザホテル（バリ島・クタ）



世界的な観光地の宝石ともいえるバリは、訪れる者に人生の調和を与える、とされています。これは、この島が広大なビーチと目を見張るような山々の景色、そして何よりも驚くべき文化的遺産に恵まれているからこそ得られた評判でしょう。これまでもバリ島では多様な国際会議が開催されてきましたので、本会議参加者の有意義な滞在を保証します。滞在中は、島の美しい景色を堪能いただけるだけでなく、目がくらむような芸術作品展覧会や文化パフォーマンスを多数お楽しみいただけます。例えば、有名なレゴン舞踊、ケチャとトランスダンス、ワヤン・クリ（影絵）、ラーマーヤナとバロンは必見です。



ディスカバリー・カルティカ・プラザホテルは、ングラ・ライ国際空港の北に位置するバリ島クタ内の海辺にあります。318 の近代的な客室、スイート、ヴィラがあり、宿泊客は快適な滞在与、国際的なサービス水準を満たしたバリのホスピタリティを体験いただけます。当ホテルには、7 つのレストランとバー、会議室 9 部屋、スパ、フィットネスセンター、彫刻された広大なプール、ヘリポートを備えており、観光とビジネスいずれの目的でお越しのお客様にも対応可能です。また、ディスカバリー・ショッピングモールが隣接しているほか、クタの中心部まで徒歩 10 分という便利な立地となっております。

V. 予定プログラム

会期中に予定されている主なプログラムは、以下の通りです：

	11/6 (日)	11/7 (月)	11/8 (火)	11/9 (水)	11/10 (木)	11/11 (金)
午前	現地会議 登録受付 *5日より	フィールドトリップ°	開会式	特別ワークショップ° および 分科会	特別ワークショップ° および 分科会	オープンツアー *任意参加
午後	フィールド° トリップ°の 発表		特別ワークショップ° および 分科会	特別ワークショップ° および 分科会	バリ宣言 および 閉会式	
夕刻	歓迎 レプション			晩餐会		

上記のほか、サイドイベントも複数予定しています：

【現在企画中のサイドイベント】

※暫定案：変更の可能性があります

- 国際政策フォーラム
- 地方政策フォーラム
- 文化イベントと授賞式
- 野外活動アクティビティー（植樹、堤防や湖岸の清掃）
- 子ども湖沼会議
- 短期コース
- 知事フォーラム
- 企業・コミュニティーフォーラム
- 展示

VI. 分科会トピック

現在のところ、分科会のトピックは下記を予定しています：

1. **気候変動と水の危機**：水文学的变化の影響、水理学的变化の影響、二酸化炭素シンク及び炭素貯蔵器としての役割、湖沼の気候変動への適応策・緩和策、ほか
2. **湖沼環境が当面する脅威と回復に向けた取組**：死滅しつつある湖沼とその回復、陸域からの汚染と湖底への堆積、富栄養化に関連する現象と対策、ほか
3. **湖沼と湖沼流域管理・政策**：集水域管理、沿岸域管理、湖内対策、河川-湖沼-湾域システム、静水-流水システム、湖沼流域ガバナンス、法律と規制策、統合的湖沼流域管理（ILBM）、生態系サービスの枠組み、最良取組み事例、ほか
4. **多様な水利用**：水力発電、市販飲料水、灌漑、公共用水供給、ほか
5. **水に関する教育、エコツーリズム、水と文化**：啓発活動、住民参加、伝承される知識・知恵、ハートウェア・アプローチ、ほか
6. **データベース・知識ベース、情報・通信技術、モニタリング技術**：地理情報システム技術とマッピング、GIS 及びリモートセンシング技術と応用、データインベントリ・メタデータソース、モデリングと解析ツール、ほか
7. **生物多様性と保全**：生物多様性評価、生物多様性の回復技法、淡水漁業の課題と展望、固有植物・動物種、外来魚及び外来植物の評価と管理、ほか
8. **エコテクノロジーとエコハイドロロジー**：生態系の復元と復元生態学、エコシステムに依存した水質改善、エコシステムの健全性評価、沿岸帯とエコトーン、ほか
9. **人造湖**：人造湖の湖沼学、貯水池の運転管理、ダムとその影響、都市湖沼、露天掘り鉱山跡地に出来た溜池、ほか
10. **湖沼学及び湖沼科学の基本的課題**：熱帯湖沼の湖沼学、汽水湖とその湖沼学、河川・湖沼の相互作用、湖沼物理と土砂・土壌の流送、古陸水学、ほか

VII. プレゼンテーションの受付について

WLC16 では、参加予定者からの口頭発表およびポスター形式でのプレゼンテーションを受け付けています。プレゼンテーションの内容は、前ページに記載の分科会トピックに準じるようにしてください。

なお、WLC16 科学委員会は、投稿いただいた論文の中から優れたものを ILEC の定期刊行物「Lakes and Reservoirs: Research and Management」への掲載論文として推薦する場合があります。本紙への論文掲載を希望される方は、最大 2 ページのエクステンデッド・アブストラクトを下記締切日までに提出してください。

【締切スケジュール】

- ◆ アブストラクトの提出 : 2016 年 8 月 7 日 (日)
- ◆ エクステンデッド・アブストラクトの提出 (任意) : 9 月 7 日 (火)
- ◆ フルペーパーの提出 (アブストラクト選考通過者のみ) : 12 月 7 日 (水)

【様式と提出先】

いずれも公式サイト専用ページ (www.wlc16bali.org/#!blank/fdryy) より各様式をダウンロードの上、電子メールにて現地事務局 (secretary@wlc16bali.org) までお送りください。

その他の重要な日程の詳細は、随時公式サイト (www.wlc16bali.org) をご確認ください。

VIII. 口頭/ポスター発表の準備要項

口頭発表のプレゼンテーション・データは、2016年11月1日（火）までに現地事務局（secretary@wlc16bali.org）へお送りください。発表は下記のガイダンスに準じてください。

- 全ての口頭発表は15分の時間制限を順守してください。
- 発表は10分、付随する質疑が5分間です。
- 発表はマイクロソフト・パワーポイントと互換性のあるソフトウェアを用いて準備してください。
- マッキントッシュユーザーの方は、ウィンドウズ PC での発表を想定してください。

ポスターセッション発表者は、予め印刷したポスターデーを持参の上、2016年11月6日（日）までに 会議会場の参加者受付にて提出してください。ポスターの規格は下記に準じてください。

- ポスターのサイズは A1 (594mm x 841mm, 23.39 in x 33.11 in) でポートレート配置としてください。ビューアーによくわかるようにポスターのタイトルをトップに目立つよう配置してください。
- 関心のあるビューアーがより詳しい情報を求めてコンタクトできるように、著者の名前とアドレス情報を明記し、ポスターを明瞭で順序良く十分に説明できているよう構成してください。
- ポスターはアブストラクトと同一の内容をカバーする必要があります。各要素に 1, 2, 3 あるいは A, B, C 等のラベル振りをしてください。ビューアーがフォローしやすくなります。研究のバックグラウンド、つづいて結果・結論を記述してください。
- ポスターの成功は、関心のある聴衆にいかにかうまく情報を伝えるかにかかっています。図表はきれいに読みやすく準備し、1.5mの距離から十分に読める大きさにしてください。
- フォントサイズは最小の高さ 2.5 cm 以上を推奨します。（例えば、タイトル 60 ポイント、見出し 30 ポイント、最小フォントサイズは 18 ポイント）工夫していろいろと違うフォントサイズを使ってください。色を付けたり、すべてのテキストをダブルスペースにしてみるのも良い試みです。
- 図表中のそれぞれのラインやバーを色分けすると見やすくなります。
- 可能であればテキストの代わりにグラフィックスを多くしてください。長文は避けたほうが良いでしょう。図や写真の解像度は 300dpi 以上を推奨します。

IX. フィールドトリップ

会議参加者の皆さんに地元の風景、慣習、文化を知っていただくために、日帰りのフィールドトリップを11月7日（月）に計画しています。参加いただければ、きっとバリ島の美しさを堪能いただけるでしょう。現在のところ、下記の4つの行先を予定しています：

※ フィールドトリップへの参加は別途料金が必要となります。詳細は、追って公式サイトにて発表されます。

A. ブラタン湖

聖なる山の湖として知られているブラタン湖は、自然と宗教における絶好の観光地です。神聖なヒンドゥー教の文化と組み合わせられた見事な景観は、ハフントンポスト紙により世界で最も美しい20の湖のひとつに挙げられました。湖の中で最も有名な目的地は、湖岸のウルダヌ寺院です。1663年に建てられたこの寺院は、川の女神の崇拝と常に結びついていることもあり、ここでは頻りにバリの水の式典が催されます。また、バリの灌漑システムであるスバックとも関連しています。日の出時には、湖や寺院の美しさが完璧なまでに映し出されます。銀の影と湖の霧と混ざり合った山岳景観が作り出す神秘は必見です。



写真引用元: Daniel Rubio、Flickrより (www.id.baliglory.com/2015/07/beratan-danaubratana-bedugul-tabanan-bali.html)

B. バリ・エカ・カリヤ植物園

バリ・エカ・カリヤ植物園は、ブラタン湖の傍にある魅惑的な熱帯庭園です。観光場所としてだけでなく、主に植物の保全、研究や学習センターとなっています。山のカルデラに造られた庭園には、蘭、サボテン、シダ、コケ、竹、水生植物など多様な植物が集められています。現在、この庭園には2,000以上の植物種があります。また、訪問者は、バードウォッチングに参加することができます。

C. タナロット

タナロットは、バリで最も人気のある旅先一つと言われ、バリ・ヒンドゥー教の豪華な美しさを見せてくれます。息をのむような夕日の眺めが評判となっているだけでなく、バリの海神を崇拝するための寺院として知られています。この寺院の最大の式典は、210 日毎に祝われるオダランです。寺院の複合体は、二つの大きな寺院で構成されています。その一つは崖の端に、もう一つは大きな石の上に建っています。この寺院ではそこから見える風光明媚な海の景色を楽しめるだけでなく、訪れるたびにジャワ舞踏「ラーマーヤナ・バレエ」などの芸術公演を鑑賞することができます。最もお勧めの訪問時は夕暮れ時です。



D. ジャティルイ (暫定)

ユネスコの世界遺産として知られるジャティルイは、バリの伝統と知恵の豊かな歴史を示しています。島で最大規模の水田地域には素晴らしい風景、新鮮な空気、そして伝統的習わしがあり、すべての人に癒しを与えます。その風景は棚田群あるいはスバックとして有名です。さらに特筆すべきは、ペタヤンという名前の伝統的な式典が、210 日毎に行われることです。この式典では、極めて神聖な踊りであるワリ・ペンデット舞踊が主な儀式の一つとして舞われます。バリ本来の趣向を感じたいなら、ジャティルイの風景は、お見逃しなく。



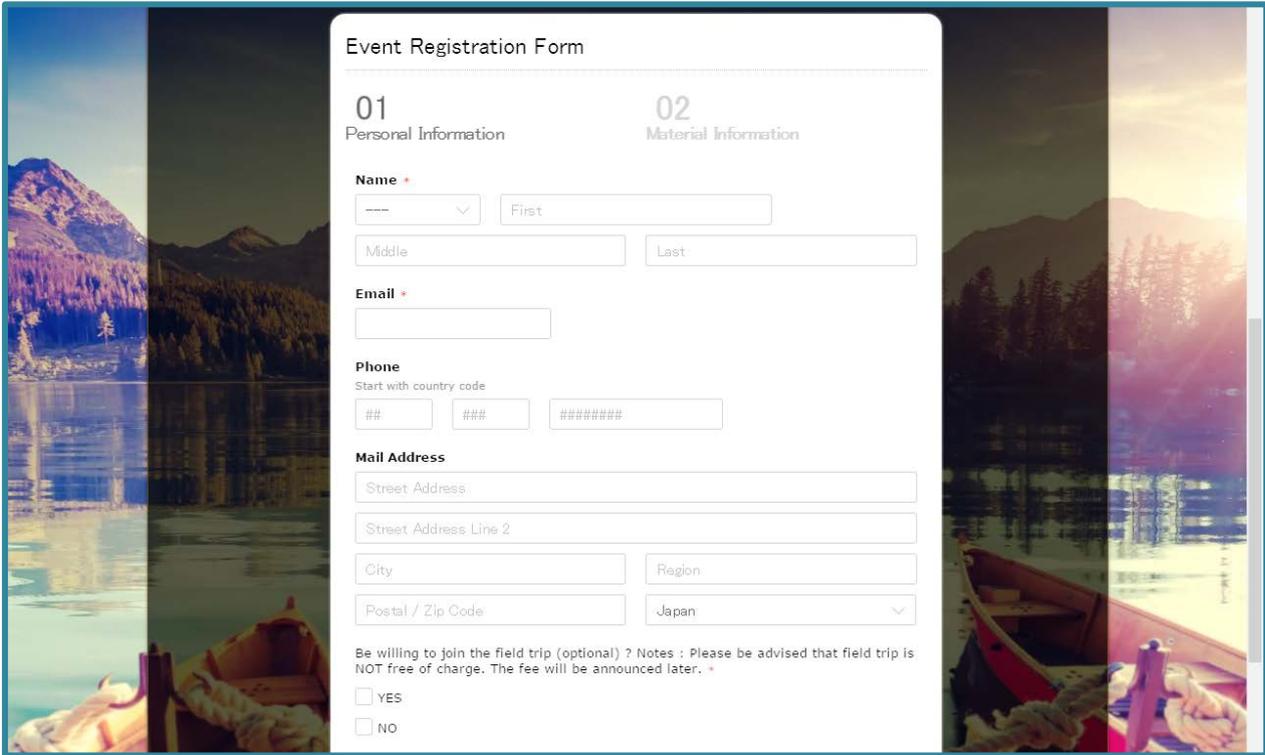
写真引用元: www.lotusbalitour.com/category/bali_tour/bali-full-day-tour/bedugul-jatiluwi/

X. 会議参加登録

参加登録は一律、公式サイト上の専用フォーム (www.wlc16bali.org/#!registration/s6kfy) にて、**2016年8月7日(日)まで**受け付けています。

※ 過去に開催した世界湖沼会議 (WLC) とは異なり、WLC16 では会期間際までのオンライン登録および現地会議会場での登録受付がございません。**会議への参加をされる方は、必ず上記の期日までに登録をお済ませください。**

会議参加登録 オンラインフォーム イメージ



The image shows a screenshot of the 'Event Registration Form' with a scenic background of a lake and mountains. The form is divided into two sections: '01 Personal Information' and '02 Material Information'. The 'Personal Information' section includes fields for Name (First, Middle, Last), Email, and Phone (with a note to start with country code). The 'Material Information' section includes fields for Mail Address (Street Address, Street Address Line 2, City, Region, Postal / Zip Code) and a dropdown for Country (set to Japan). At the bottom, there is a checkbox for 'Be willing to join the field trip (optional) ? Notes : Please be advised that field trip is NOT free of charge. The fee will be announced later. *' with options for YES and NO.

入力は、すべて英語で行ってください。なお、フォームの入力が上手くいかない場合は、上記ページより pdf ファイルの様式ダウンロードし、現地事務局へ送信いただくことも可能です。

本会議への参加登録は無料となりますが、フィールドトリップへの参加は有料になりますのでご注意ください。フィールドトリップの料金は、最終案内書で発表します。

XI. 宿泊先

会場周辺には様々なホテルやリゾートがあります。参加者にはお勧めの便利ホテルをいくつかご紹介します。詳細は公式サイト上の専用ページ (www.wlc16bali.org/#!venue/galleryPage) をご覧ください。

他にホテル（複数可）を探したり、予約をしたりするうえでサポートが必要な方は、現地事務局 (secretary@wlc16bali.org) までお気軽にお問い合わせください。

XII. 会場へのアクセス

空路にて：

会場へのルートはいくつかの選択肢があります。最寄りの空港であるングラ・ライ国際空港へは、直行便、または航空会社によってはスカルノハッタ（ジャカルタ）国際空港を経由した乗り継ぎ便をご利用いただけます。

空港到着後は公式のタクシーで会場までお越しください。会場までは約 3.1 km、10 分の道のりです。公式タクシーカウンターは到着ホールの外にあります（到着出口ゲートを出て右へ進んでください）。あるいは帰国されるまで各自で車やバイクを借りることもできます。空港への行き来に関するより詳しい情報は www.baliairport.com/transportation/ をご覧ください。

連絡船および陸路にて：

お近くの港からギリマヌク港まで連絡船をご利用後、そこから車かバスでお越しいただくことも可能です。会場までは 133km で 3 時間 37 分かかります。

レンタカーに関しては下記 3 サイトをご参照ください：

www.anandatour.web.id/

www.bimasakticarrental.com

www.nurisrentcar.com/car-rental/

XIII. 協賛・後援と展示について

第16回世界湖沼会議は協賛者にとって世界に認知されるまたとない機会です。協賛者がつくことで、会議の重要性が高まり、事務局がより広く包括的なプログラムを提供できるようになります。ですから様々な組織、機関、企業、NGO などからの組織委員会への協賛を歓迎いたします。

さらに展示会が、会期中の活動の中心となる場所において開催されます。これは間違いなく民間企業やその他の協会がグローバルに認められる良い機会となります。協賛レベルや展示会の詳細・コストほか詳細な情報は、専用ウェブページ(www.wlc16bali.org/#!sponsorships/nmyx5)にてご覧いただけます。協賛および出展者は、会議の広告や会議自体において高い認知を受けることができます。

XIV. プログラム委員会

第 16 回世界湖沼会議プログラム委員会は、科学プログラム委員会および現地運営委員会から成っています。各委員会の編成は以下の通りです：

1. 科学プログラム委員会

本委員会は以下の 2 局に分かれています：

*アルファベット順に記載

A. インドネシア科学アドバイザー委員会

委員長：Gadis Sri Haryani

委員：Hary Harjono

Robert Delinom

Hidayat Pawitan

福島 武彦 [日本]

河野 泰之 [日本]

中野 伸一 [日本]

Sucharit Koontanakulvong [タイ]

Mashhor Mansor [マレーシア]

Kwansue JUNG [韓国]

Ignatius D.A. Sutapa

Theo EBBERS [ドイツ]

Nyoman Suryadiputra

B. ILEC 科学委員会

委員長：Walter RAST [アメリカ]

前委員長：中村 正久 [日本]

委員：Sandra AZEVEDO [ブラジル]

Salif DIOP [セネガル]

Zhengyu HU [中国]

Daniel OLAGO [ケニア]

Ajit Kumar PATTNAIK [インド]

Adelina SANTOS-BORJA [フィリピン]

清水 芳久 [日本]

Juan SKINNER [グアテマラ]

渡邊 紹裕 [日本]

2. 現地運営委員会

委員長 : Hermono Sigit

Tri Widiyanto

Imam Santoso

副委員長: Luki Subehi

Bob A. Lombogia Syamsuhari

事務局長 : Ivana Yuniarti

萩原 康江 [日本]

委員 : Sekar Larashati

Miratul Maghfiroh

Hadiid Agita Rustini

Inge Retnowati

Gunawan Pratama Yoga

Ali Cahyadi



発行元：インドネシア共和国環境林業省



日本語版作成：公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）